

市議会だより おおだ

No. 73

2023 (令和5) 年10月19日発行



表紙の写真
久手町の風景 (石田洋治議員撮影)
～実りの秋 黄金色の輝き～

🌾 9月定例会	2
🌾 7月臨時会	6
🌾 一般質問に10人	8
🌾 特別委員会報告	13
🌾 8/20おでかけトーク開催しました ...	16

9月定例市議会は、令和5年9月4日(月)～27日(水)までの会期で開催され、上程された議案について慎重に審議した結果、全議案とも原案どおり可決しました。

可決

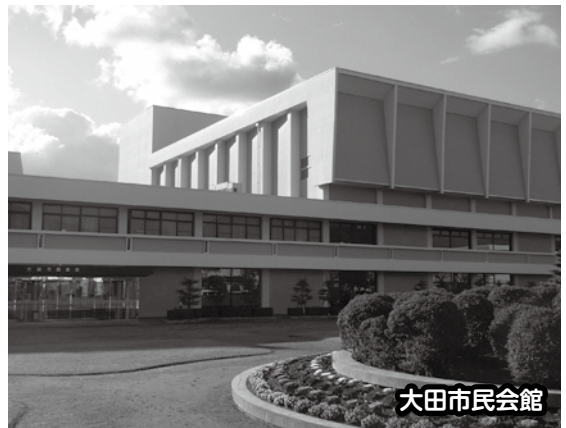
全会一致

(一般会計総額 244億399万円)



学校給食費無償化事業 3,472万円

物価の上昇が長期化する中、子育て世帯の負担軽減を目的として、10月～12月分の学校給食費を無償とする



大田市民会館

大田市民会館施設改修事業 1,300万円

大ホールの空調設備に係る冷却装置の老朽化に伴い、設備の更新を行う

皆さんからの請願・陳情

【不採択】

▼サンレディー大田の継続利用を求める件について
の請願

(請願者)

サンレディー大田の継続利用を求める会

会長 幸田三重子

審査の概要

本請願は6月定例会で産業建設委員会に付託された後、委員会を3回開催し、審査を行いました。

1回目の審査では市の執行部に対し、これまでの経緯と今後の方向性について改めて説明を求め、現状の確認を行いました。

2回目の審査では参考人(請願者)を招致し、本請願に対する思いや意見などを聴取、参考人代理人への質疑を行いました。

3回目の審査では各団体から市に提出された要望書や質問書等に対する市の対応について確認し、質疑を行いました。その後の委員会での採決の結果は賛成少数で不採択となりました。

9月議会初日の本会議において本請願に対する委員長報告、質疑、討論が行われ、議長を除く全議員で採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

【採択】

▼森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める請願

(請願者)

大田市森林組合

代表理事組合長 林達夫

島根県木材協会

大田支部長 山形弘司

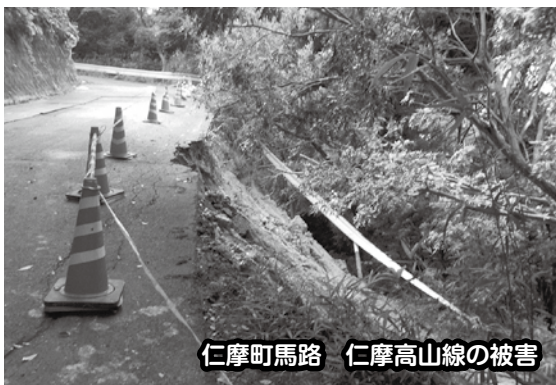
9月定例市議会



一般会計
補正予算
(第4～5号)

補正額 7億5,960万円

主な補正内容



仁摩町馬路 仁摩高山線の被害

現年耕地災害・現年土木災害・
その他市有財産災害復旧事業

4億6,411万円

7月6日～11日の豪雨により被災した農地・農業用施設、公共土木施設、市有財産の災害復旧を行う



医療・介護・保育施設等物価高騰
対策応援金支給事業

3,044万円

原油価格・物価高騰の影響により費用負担が増大している医療・介護・保育施設等に応援金を支給

人事案件

【同意】

▼教育委員会委員の任命につき同意を求めること

現委員である竹下ちとせ氏の任期が本年11月28日満了のため、宮里陽子氏(温泉津町)を新たに任命することについて同意を求めたものです。任期は4年です。

【同意】

▼固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めること

現委員である田中昭一氏、杉原慎一氏、福富雅英氏の任期が本年11月29日満了のため、杉原慎一氏を再任し、水田雄二氏(水上町)及び榎 伸氏(大田町)を新たに任命することについて同意を求めたものです。任期は3年です。

【同意】

▼公平委員会委員の選任につき同意を求めること

現委員である熊谷健氏の任期が本年11月29日満了のため、同氏を再任することについて同意を求めたものです。任期は4年です。

【異議なく同意】

▼人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること

現委員である福富雅英氏、水上恒子氏、片山秀美氏の任期が本年12月31日満了のため、福富雅英氏及び水上恒子氏を再任し、森本学氏(祖式町)を新たに任命することについて意見を求めたものです。任期は3年です。

令和4年度の決算（一般会計、特別会計、公営企業会計）については、決算審査特別委員会を設置し、審査を行い、全件認定しました。



一般会計及び特別会計歳入歳出決算

	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	256億8,682万円	250億1,700万円
特別会計	122億9,489万円	119億9,323万円

●一般・特別会計決算審査特別委員会

※◎委員長 ○副委員長

◎松村 信之 ○伊藤 康浩
 胡摩田 弘孝 森山 幸太
 根宜 和之 亀谷 優子
 和田 章一郎 清水 好

歳入



問 基金は増え、地方債が減となり、手堅い決算と言える。コロナ交付金もあり、特別交付税は過去最高額となっているが、今後については事業の取捨選択が必要ではないのか。

答 計画性と優先順位を考慮し平準化し、手法等々検討しながら民間の視点も取り入れ事業を進めていく。

歳出

問 定住促進事業で令和4年度の移住者は121名とされているが、その効果と空き家バンクなどの定住支援の現状は。

答 定住支援事業、空き家改修事業については、県内外で区別せず実施しているが、移住者数は横ばいである。

問 コロナ等により一時的に超過勤務が増加しているのは理解しているが、慢性的な超過勤務が発生している部署もある。今後の人員配置や、協力体制についても検討する必要があるのではないか。

答 慢性的な超過勤務については承知しており、事業の取捨選択を含め議論していく。人員確保については、中途採用等も考慮し協議する。各課の協力体制も人員配置を含め議論していく。

問 高齢者講習施設新規整備事業の進捗状況は。

答 設計が終わり、工事発注のための図面が整った状況であり、施設については市が直営で管理する予定となっている。

問 パルの跡地利用については何か動きがあるのか。

答 組合に定期訪問し話し合っている。公募などはされたが、いまだ決定していない。

問 地籍調査事業については、高齢化が進んでおり、早く進めないといけないと思うが、進捗状況は。

答 7次10か年計画の進行中、現在大田町内を実施している。山林は航空機で境界が確認できるので現在導入について検討中である。現在の進捗率は約37%である。

問 道路維持事業について、以前は1億5千万円程度の道路維持予算があったが減少している、その現状は。

答 令和5年については若干減少しており、市民からも要望が488件出ている。完了が465件、23件がまだ実施されていないが年度内完了を目標に実施する。

問 不登校の生徒が増えている。何か対策は。

答 現状は小学校は横ばい、中学校は微増、今後は自立を考えた支援を実施していきたい。学校に来るけれども教室に入れない子ども対策等についても考えていく。今後は多様な教育に取り組みたい。

【主な指摘事項】

- ・ 情報の発信事業については各課ごとで取り組んでいるが、政策企画あるいは総務でその発信の取りまとめを。
- ・ 恒常的に超過勤務が多い課についての対策を。
- ・ 地域交通対策は、クロスセクター効果の測定を行ってほしい。また、JRにICカード決済導入の働きかけを。
- ・ 大田市に合った独自の転作物を研究し、県に伝え、共に進めてほしい。
- ・ グリーンスローモビリティの赤字部分はかなり解消されているが、今年度以降も努力を。
- ・ 母子家庭等自立支援事業では、実習時に交通費を加算するなど、給付の手法の工夫を。
- ・ 放課後児童支援事業では、利用料の負担軽減措置を。
- ・ 危険な老朽化市営住宅への対応を。
- ・ 消防団員の処遇改善を。

令和4年度決算審査全会計認定する

公営企業会計決算

●公営企業会計決算審査特別委員会

※○委員長 ○副委員長

○小川 和也 ○清水 勝
石橋 秀利 月森 和弘
塩谷 裕志 河村 賢治
宮脇 康郎 柿田 賢次

	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
水道事業会計	11億7,665万円	11億3,172万円	4億9,943万円	8億8,253万円
下水道事業会計	6億9,822万円	6億 417万円	15億1,241万円	15億7,907万円
病院事業会計	56億9,793万円	58億3,279万円	3億6,507万円	5億6,737万円

◎水道事業会計



おがわかずや
小川和也 委員長

問 有収率の推移について。

答 令和3年度に三瓶浄水場の配水量計の不具合が判明。令和4年度に配水量計の交換を行い現在では安定している。

問 水道料金の収入未済額、給水停止や不納欠損処分状況について。

答 滞納し支払いができない場合も、分納等により収納率を上げている。給水停止については、通知を送っても連絡がつかない場合、現地へ行き給水停止を行っている。また、督促から5年経過したものを不納欠損処分している。

問 江の川からの送水管の耐用年数と送水管の点検について。

答 江の川の送水管については、移管を受けているので大田市の財産になる。耐用年数も40年から50年であるため、更新する時期ではない。

【主な指摘事項】

・水源に乏しい地域の中で経営は評価するが、今後さらに人口減少が予測されるため、安心・安全で安価に安定的な水道水の供給が提供できるよう検討すること。

・有収率の向上や安定的な水道水の供給のため、適切な施設の管理や老朽管の更新を確実にすること。

◎下水道事業会計

問 公共ますの設置の実態と接続率の向上について。

答 設置を拒否された方には再度お願いをしている。接続率の向上に向け、令和5年度から大田市下水道事業接続促進事業を行っている。

問 使用料の見直しについて。

答 整備が完了するまでは考えていない。集合処理区はスケールメリットが出てくるため、使用料収入も伸びてくる。

【主な指摘事項】

・都市計画用途区域と下水道整備区域とのバランスが取れるよう、検討すること。

・大田市下水道基本構想で示された整備計画や関連工事の確実な進捗を図ること。

◎病院事業会計

問 医療収益と給与の関係について。

答 若い医師が増えて給与がおさえられた。病床稼働率80%を超えながら人件費率60%台を維持できれば、と考えている。また、職員の数をコントロールしないと時期にない時期になっている。

問 医師クレークの現状と考え方について。

答 医師が本来の仕事を行うために、電子カルテや書類の整理などを行う医師クレークは、常勤医師に決められた配置を行っている。また、診療報酬加算がある。

【主な指摘事項】

・今後人口減少が進み、外来・入院患者が減り、収益も減少することが予想される。大田市立病院経営強化プランに基づき着実な進捗と更なる経営努力をすること。

公営企業会計での共通意見・提言

負担の公平性の観点から、未収債権の新規発生を未然防止に努めるとともに、債権管理マニュアル等に基づき効果的な債権回収に取り組むこと。

9月定例会で審議された
その他の内容

新設条例

【全会一致 原案可決】
▼大田市公共料金に関する審議会条例制定について
公共料金の額について審議するための審議会を設置するため、条例を制定するもの。

議員提出議案

【全会一致 原案可決】
▼森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書の提出
H25.10.15
山間部における様々な課題に早急に対応し、森林整備や人材育成・担い手確保といった取組を今後本格化させたいという声は、多くの森林を抱える本市では、今の譲与基準のままでは森林整備の費用に不足が見込まれ、さらなる財源が必要となっている。森林の多い市町村が、必要な森林整備をより一層推進することができるよう、譲与基準を見直すことを強く要請する。

7月臨時市議会

7月21日
開催

令和5年度一般会計補正予算(第3号)

3,250万円

可決

全会一致



補修が必要な欠損箇所の状況

公共施設緊急補修・
修繕対策事業 1,000万円

大田・鳥井・五十猛小学校について、外壁欠損部の補修工事を実施

その他の補正	補正額
石見銀山協働推進事業 (海外鉱山遺跡交流事業を実施する特定非営利活動法人に対する負担金額の増額、及び事業に同行する職員の旅費等)	250万円
石見銀山体験ツアー造成事業(インバウンドの本格的な回復を目的として、国の「観光再始動事業」の採択を受けた「石見銀山Lifestyle体験ツアー事業」を実施)	2,000万円

議会を傍聴
してみませんか

次の定例会の予定は12月です。
市議会を身近に感じようという機会です。

地域や職場のグループで勉強会はいかがですか。授業の環境での見学もお待ちしています。臨場感あふれる議場のやりとりをぜひご覧ください。
団体での傍聴は、事前に議会事務局までご連絡ください。
(日程が決まり次第、ホームページやぎんざんテレビの告知放送などでお知らせいたします)

☆傍聴席の定員は64名です

新型コロナウイルス感染症対策のため、間隔をあけてお座りいただけると、定員を34名としていましたが、令和5年9月議会より64名になりましたのでお知らせいたします。

お問い合わせ先：大田市議会事務局
(TEL：0854-831-8113)



◇7月臨時会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対等	塩谷裕志	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	亀谷優子	根宜和之	森山幸太	胡摩田弘孝	小川和也	石田洋治	松村信之	河村賢治	月森和弘	石橋秀利	清水勝	小林太	
■市長提出議案																							
議案第140号	令和5年度大田市一般会計補正予算(第3号)	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

◇9月定例会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対等	塩谷裕志	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	亀谷優子	根宜和之	森山幸太	胡摩田弘孝	小川和也	石田洋治	松村信之	河村賢治	月森和弘	石橋秀利	清水勝	小林太	
■市長提出議案																							
議案第141号	専決処分(令和5年度大田市一般会計補正予算(第4号))の承認について	承認	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第142号	令和4年度大田市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	認定	15:2		○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第143号	令和4年度大田市水道事業会計利益の処分及び決算認定について	可決認定	15:2		○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第144号	令和4年度大田市下水道事業会計決算認定について	認定	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第145号	令和4年度大田市病院事業会計決算認定について	認定	15:2		○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第146号	令和5年度大田市一般会計補正予算(第5号)	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第147号	令和5年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第148号	令和5年度大田市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第149号	令和5年度大田市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第150号	令和5年度大田市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第151号	令和5年度大田市病院事業会計補正予算(第1号)	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第152号	大田市公共料金に関する審議会条例制定について	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第153号	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例制定について	可決	15:2		○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第154号	大田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第155号	大田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第156号	大田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第157号	大田市消防団員の定員、任免、給与及び服務等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第160号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第161号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第162号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第163号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第164号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第165号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第166号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第167号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
■議員提出議案																							
議案第158号	特別委員会の設置について	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第159号	特別委員会の設置について	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
意第6号	森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書の提出について	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
■請願・陳情																							
請願第3号	サンレディー大田の継続利用を求める件についての請願	不採択	5:12		●	●	○	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	—
請願第4号	森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める請願	採択	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※定数18名、うち議長(小林 太)は採決に加わりません
 ※○は賛成、●は反対等(反対、継続審査、態度保留等々)

いっぱん質問

市政に対する一般質問は、9月7日、8日に行われ、10人の議員が執行部の考えをたどりました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は1人1議題とし、その他の質問項目があった場合は、質問項目のみを掲載しています。(内容は、ホームページ(<https://www.city.oda.lg.jp/>)で閲覧できます。)



▲鳥井町の写真家 宮脇 洸太さん撮影 (国際ウェディングフォトコンテスト「COSMOS AWARDS 2023」ウェディングフォト部門 世界2位受賞作品)

在宅医療・介護における 暴力とハラスメント の現状は

.....
実態把握に努め
ヒアリングを実施

ねぎ かずゆき
根宜 和之 議員



やハラスメント等に関するものはヒアリング、アンケート等は行っておらず把握していない。まずは実態把握が必要であり、その方法については医師会と相談しながら実施していく。

介護分野では、これまで数件事業者からの相談があり、ハラスメントの内容や状況により各関係機関による協議を実施し、対応してきた。

ハラスメント対策については、マニュアルや研修の手引を作成し、周知している。カスタマーハラスメント対策については、努力義務であり、今後実態把握した上で対応を検討していく。

②島根県では、専用の相談機関はなく、大田市も設けていない。在宅医療、介護の事業者からの相談があった場合は、担当課にて個別に対応している。また、早急に対応すべき場合は、警察や弁護士への相談等も助言していきたい。

根宜議員その他の質問項目

・大田市の農業について

質問

令和4年1月、埼玉県ふじみ野市で在宅医療を行っている医師が犠牲になった立って、この事件があった。これをうけて、埼玉県は在宅医療・介護従事者にアンケートを行ったところ、患者や利用者などから暴力やハラスメントを受けている多くの実例が報告された。

①大田市の在宅医療・介護における、患者や利用者などからの暴力とハラスメントの実態把握をしているのか。

②専用の相談窓口があるのか。

答弁

①医療分野では、医療政策課において定期的に医師会の診療所を訪問し、課題等のヒアリングを実施している。在宅医療における暴力

学校再編の見直し 今後の進め方は

.....
よりよい教育のため想定を超える
現実に素早く対応する

ごま だひろたか
胡摩田弘孝 議員



170人前後と予測を大きく超えて減少し、施設状況についても想定を超える劣化が見られ、対症療法的では対応できず、早急で抜本的な対応が急務である。

質問

教育委員会では、児童生徒の個性や適性に応じた多様な学びを追求できる体制や、教育環境を整えていくため「学校のあり方に関する実施計画」を令和3年度末に作成している。しかし、教育環境の急激な変化に伴い、小中学校再編の見直しの必要性に迫られているが、地域や保護者、関係者の方々に問題提起や指針を示し、理解や協力を頂くことが大切だと考え、以下の事について伺う。

- ①計画変更の理由や見直しの考え方について
- ②再編の課題や今後の進め方について

答弁

①大田市の出生数は、現計画の策定時点の年間200人から

②統合による学校規模拡大の影響で不登校児童生徒の増加が考えられ、その点についても考慮しながら、現在、複数の再編パターンによる素案を作成している。今後、市民向け説明会等の開催により幅広い意見を聞き、また学識経験者、PTAの代表等幅広い分野の方々で構成する大田市学校のあり方に関する計画等検討委員会を設置し年度内に最終案を提示する。再編後、中学校は現状の6校から2〜3校へ、小学校は地域性等を考慮し、現状の15校から5〜6校になると考えている。



▲大田小学校

マイナンバーカードの 普及の現況及び問題点は

.....
誤交付など窓口での
トラブルはない

しみず まさる
清水 勝 議員



質問

「マイナンバーカードを「全国民に行き渡らせる」と最大2万点のポイント付与や自治体間での取得率に応じた交付税の上乗せ等によりカード取得者が急激に増大し、自治体の窓口で殺到。混乱と多発化を招き、誤登録や情報漏洩等のトラブルが相次いでいる。人権の尊重や個人情報情報の堅持が案じられる観点から伺う。

- ①当市におけるトラブルの有無、交付税の動向。全国自治体調査などを伺う。
- ②健康保険証の代わりとなる資格確認書の発行、各種情報とのひもづけエックなど、総点検を11月末日完了等による労働過重も懸念されるが、対応方を尋ねる。

答弁

①マイナンバーカードの交付は、平成28年1月から始まり、本年8月27日現在で交付枚数2万5千37枚、交付率76.4%である。国は、普及率の高い自治体に地方交付税を上乗せするとしていたが、本市は5月末段階で基準となる保有率を超えていなかったため、割り増しの対象とはならなかった。窓口での誤交付等のトラブルはなく、総体的に現在の人員の中で対応できた。

②マイナンバーカードの総点検は、7月に実施した各業務におけるマイナンバーと情報とのひもづけ方法に関する調査と、その結果を踏まえ、11月末日までの実施が求められる全個別データの点検である。現在は点検を求められた業務について対応している。

健康保険証の代わりとなる資格確認書については、国は有効期間を5年として進めていくとしているが、その詳細が示され次第、適切に対応していきたい。

公共施設緊急補修・修繕 今後の取り組みは

財政を鑑み、予防保全に取り組む

かきだ けんじ 議員
柿田 賢次



このうち、国庫補助金等の財源が確保できるもの以外の、修繕の優先度が高いものは合計で275か所と判定しており、施設修繕のための特別枠を新たに設け、今年度を含め3年程度で緊急性が高いものから予算化し、重点的に取り組む。

質問 3月に起きた大森の転落事故後、市は公共施設や観光地、市道など一斉に緊急点検が行われた。点検後270か所の修繕が必要な箇所が判明し、今年度は観光地や公共施設など優先度の高い箇所、66か所を修繕予定であるが、来年度以降の取り組みについて伺う。

- ① 修繕箇所の今後の計画
- ② 財源の確保
- ③ 事後保全の対応

答弁 ①年度当初、優先度の高い箇所について予算措置を講じて対応しているが、その後の追加の調査では、簡易な小修繕から将来的な予防保全までの案件が467か所報告されて

来年には予防保全に取り組んでいきたい。



▲大森町内

仁摩町の 買い物支援策は

移動販売事業者を支援

かめたに ゆうこ 議員
亀谷 優子



答弁 ①買物支援は重要な施策であり、事業者等から、環境整備のための施設改修や移動販売の強化を行いたいとの声があれば、引き続き島根県と連携し、整備等に係る経費への補助を検討したい。

質問 仁摩町内唯一の食品スーパーが3月末に閉店したことから、買い物支援が必要である。①現状をどう認識し、どのような対応が必要と考えているか。

- ②「今は車があるから何とかなっているが将来が不安だ」との意見も出ている。気軽に出かけられるように公共交通を充実させることが重要ではないか。
- ③ 移動販売への支援が必要と考えるがどうか。
- ④ 買い物支援と、地元のリピート客を増やすという観点から、道の駅の品揃えをもっと地域住民の要望に応えた内容にしていくべきではないか。

②本市では、現在、地域公共交通計画を策定中である。二丁の把握、公共交通の課題整理を行い、公共交通の維持に向けた取り組みを検討したい。

③以前より、移動販売に要する経費を支援する補助制度を設けている。今年度は、当初予算で関係事業の予算を計上しており、移動販売車の更新事業に対し、補助を行う予定である。

④道の駅の利用者や周辺住民などのニーズに応えることは必要と考えている。今後、道の駅の利用者の利便性の向上、日常生活を維持する上で必要となる商品の充実について、指定管理者と協議したい。

増える業務量 市職員の負担軽減を

業務の効率化、職員負担の軽減を
目指しデジタル化を推進

いとう やすひろ
伊藤 康浩 議員



月平均時間外勤務は、前年の12・3時間から10・2時間に減少、令和4年度は、10・9時間である。システム導入により直ちに時間外勤務の削減につながるものではないが、今後も業務の効率化を進めていく。

質問 近年若い職員や定年を待たず退職する職員が増加、過去5年半で経験年数5年以下の職員が20名以上退職しており、採用募集しても受験者は減少の一途。これは業務量の増加によりワークライフバランスが取れないことが影響していると考えられるため下記3点について問う。

- ① 近年導入したシステムの導入前と導入後の超過勤務状況
- ② 今後の業務削減方針と業務見直しへの取り組み
- ③ 今後のシステム導入にあたり職員ニーズの把握とシステムへの反映について

答弁 ①新システム移行後の令和3年度の職員1人当たりの1か

は、担当課と情報企画課の連携を密にし、事務の効率化とともに職員負担の軽減に努める。



②大田市行財政改革推進大綱では、効果的で効率的な市政運営を掲げており、具体的には、業務の効率化につながる行政のデジタル化の推進、事務事業の見直しにあたっては、市民ニーズや厳しい財政状況に鑑み、事業の選択と集中に取り組んでいる。こうした取り組みを通じて、業務の削減と効率化をはかっていく。

③デジタル化にあたっては、これまでの業務手順の見直し等業務改革が重要で、職員研修会等も開催したい。

システム導入について

大田市の 子育て支援策は

市全体で人口減少の危機感を
共有し、効果的な施策を

わだ しょういちろう
和田章一郎 議員



ないため、子育て施策は市の重要施策の一つとして取り組んでいる。今年4月より、一般不妊治療、生殖補助医療の助成額を15万円から30万円に上限を増額し、経済的な支援をより充実させた。また、多子世帯における経済的負担の軽減のため、国での免除対象とならない各世帯の第3子以降の児童に対して、保育料、副食費の免除を行うなど様々な支援策を行うとともに、民間事業者とも連携をしながら、保育施設や放課後児童クラブ、子育て支援センター等でのサービス提供を行っている。

更に今年度は、親子が気軽に来訪し、交流ができ、行政が子育て世帯と向き合い、きめ細やかな子育て支援の拠点となる総合拠点施設の整備を計画している。

和田議員その他の質問項目
・「いせいせ仁摩」のその後の状況について

質問 少子化、子育て対策は大田市のとっては喫緊の課題である。この数十年間の半ば放置状態であった国の責任が大きく問われるが、大田市のような地方にあっては、東京一極集中の流れが加わり、将来より深刻な状況が心配される。この問題の最前線に関わる人たちの生の声にしっかり耳を傾け、市長が先頭に立つて先進自治体に負けない対策を願う。将来に花が咲き展望が開けるところに金を使うことが大事で、少子化、子育て対策がそつた。

答弁 令和元年に2000人あった出生数が令和4年には169人

にまで減少し、このままの状況が進めば、市全体の活力の低下は避けられ

大田市の地球温暖化対策の取り組みは

これまでの成果を検証
新たな計画で推進していく

いしだ ようじ
石田 洋治 議員



質問

近年の異常気象、自然災害の激甚化の大きな要因は、地球温暖化と言われている。環境省は、2030年までに温室効果ガスを実質ゼロにする「脱炭素先行地域」を選定し、自治体と民間団体などが共同して再生可能エネルギーの設備導入などを進めている。そこで、大田市の地球温暖化対策について伺う。

答弁

①「低炭素社会の推進」では、太陽光・太陽熱利用システム、木質燃料活用機器の設置補助や、公共

①大田市地球温暖化対策実行計画の進捗状況
②地球脱炭素の取り組み
③家庭でできる地球温暖化対策の普及啓発と今後の取り組み

施設LED照明の導入。「循環型社会の推進」では、ごみの減量・リユース・リサイクルの取り組みや、分別収集ステーションの設置補助。「情報提供・環境教育の推進」では、広報銀テレパンフレットなどを通じての情報発信や、環境に関する講演会などを実施している。

②公共施設照明LED化事業を本格的に取り組みと共に、「新大田市環境総合計画」を本年度策定し、本市に合った脱炭素社会に向け取り組んでいく。
③市民と事業者一体での取り組みの必要性から「大田市地球温暖化対策地域協議会」で実施している。

普及啓発では、講演会などの開催、啓発パンフの街頭配布をはじめ、生ごみ処理容器による減量化啓発用映像を銀テレ、YouTubeなどで放映しており、今後は、更なる資源物の分別、生ごみの減量化などを新計画に盛り込み取り組みていく。

石田議員その他の質問項目

・奨学金返還支援制度の導入について

52

自治会防犯灯LED化の促進を

今年度の予算を有効に活用するため制度の周知に努めたい

みやわき やすろう
宮脇 康郎 議員



質問

自治会防犯灯LED化への補助は、新設及び蛍光灯の破損や劣化による更新の2区分で実施されてきたが、令和3年、4年は、更新が除外された。以下、2点を伺う。
①本年度の自治会防犯灯LED化支援事業の概要、現在までの補助申請状況
②大田市地球温暖化対策実行計画で示される市が設置する防犯灯のLED化に準じ、自治会防犯灯のLED化の促進が求められる。来年度も補助制度として、更新への補助が必要と考えるが所見を伺う。

答弁

①本事業は、市内の自治会が設置した防犯灯について、省エネ性能の高いLED照明への取替えを

支援するもので、1基当たり補助率2分の1、限度額1万5千円、申請数の制限は設けていない。4月より受付を開始し、45件、181灯の申請があり、1千万円の予算に対して240万円程度の執行状況となっている。
②本事業はまちづくり推進基金を活用して実施しており、予算にまだ余裕があるため、まずは今年度予算を有効に活用していただくために再度制度の周知に努めたい。来年度については現段階では事業を継続する考えはない。



▲自治会が管理している防犯灯

宮脇議員その他の質問項目

・公共交通の確保とJR久手駅ホームに待合室の設置を求める住民の声について

外国人との 相互交流活動は どのように

多文化共生に関する
意識醸成が不可欠

しみず こほ 議員
清水 好



質問 外国人と大田市民の文化交流や相互交流活動をし、大田市を好きになつていただき、大田市を世界に広め、人口減少対策に備え将来は永住していただければと思つたの5点について伺つ。

①大田市において、外国人はどれだけおられるのか。

②その外国人の方は、どのくらい滞在されているか、市として把握しているか。

③その外国人と大田市民との文化交流や相互交流活動はしているのか。

④その外国人の方々に、大田市を知つていただく為は何かをしているか。

⑤1年以上滞在している方々に対し、大田市をどう思っているかアンケートなどを取られたか。

答弁

①19カ国、465人の外国人の方が在住し、最近10年間で最も多く、5月以降は毎月10人程度の方が転入されている状況である。

②3か月以上滞在し在留カードを保有されている方は、465人。在留資格については、技能実習や就労を目的とした滞在者や、永住者資格の所有者、日本人との婚姻など多種多様である。

③仁万・静岡・福波などのまちづくりセンターで、ハロウィンパーティーや韓国料理教室などセンター事業として国際交流イベントを開催、児童クラブや社会福祉施設などでも交流活動も行っている。

④ホームページに掲載し、生活に必要な情報や市内の飲食店、観光名所などを情報発信している。

⑤令和元年にアンケートを実施し、ホームページに掲載している。

今年度、第2期大田市多文化共生推進計画の策定作業を進めており、改めてアンケートを行った。

行革・公共施設調査検討 特別委員長中間報告

〔8月21日に開催〕

委員長 松村 信之

行財政改革実施計画の取り組み状況

問 ペーパーレス化は市民生活に波及する恐れがある、窓口のことを考えれば極端に進めるべきではない。

答 ペーパーレス化は市役所内部の話である。市民に対してはご迷惑をお掛けしていない。

問 公共施設適正化について、全体的にスピード感に欠ける。今後の学校再編等を考えると、公共施設の再配置方針などを策定した方が良い。

答 今の所は策定していないが、学校再編等は現在検討中である。それらが出揃い次第、そうした方針策定について検討したい。

問 組織・定員の適正化、総人件費の抑制では、採用試験の受験者の減少や早期退職者の増加があり、職場環境に問題があるようにも感じるが、どのように考えているか。

答 確かに受験者数は少ない。島根中央高校や江津の高校などに対し勧誘したり、併願を認めたり、時期をずらすことも検討している。若い人

が辞める理由は様々だが、やりがいのある仕事を求めている。原因を分析し、離職を止めていきたい。

使用料見直しに係る利用者団体説明会の主な意見

問 料金の見直しに納得できないと言われている部分については、どのように対応するのか。

答 市民周知を丁寧に行っていくが、見直しの方向性は変更しない。

問 まちセンの使用料についての意見は。今後、利用する団体への説明はどのようにするのか。

答 運営委員会と話し合った。施設を維持するために、応分の負担は必要であるとの意見が目立った。反対意見は無かった。今後の市民への周知は、まちづくり定住課と各まちセンで対応する。

大田市公共料金に関する審議会 条例(案)

問 料金改定については議会で特別委員会を設置し協議した経緯があるが、今後はこの審議会のみで決めるのか、委員の数は下限の数字も必要ではないか。

答 議会にも早い段階で協議する。今後は学識経験者や関係団体の意見を幅広く聞きながら、行政としての考えを決定し、議会にお諮りした

い。委員の数は、あまり多くなり過ぎないように10名としたが、少しでも多くの方から意見をいただきたいと考えている。



議会活性化検討 特別委員長中間報告

〔7月28日に開催〕

委員長 石田 洋治

県内の議会改革の先進地、浜田市議会の視察

浜田市議会では、通年会期の導入、浜田市民一日議会の開催、ペーパーレス会議システムや、政務活動費の精算払いの導入など、様々な取り組みを先進的に行っており、高い評価



▲浜田市議会視察

を受けている。今回は、主に動画配信について調査研究を行った。

YouTube動画配信について

浜田市議会では、一般市民向けに、本会議の一般質問、委員会代表質問、施政方針・教育方針、予算決算委員会をケーブルテレビで録画放映しており、本会議をはじめ全ての会議について事務局職員が撮影・編集し、YouTubeで当日配信している。また、資料、会議録を動画と同じページで確認できるように、市議会ホームページにリンクを貼り、工夫されている。傍聴者は、本会議を議会棟のロビーにあるモニターで生中継を視聴可能になっており、職員は、本会議、委員会・全員協議会等すべての会議を机上のパソコンで視聴可能となっている。

意見

・事務局職員が編集する場合、どの程度負担があるのかを調査し、検討してみるのも良いのではないかと。
・段階を踏んで、市民に見やすいYouTubeにすべきである。
・9月議会、12月議会ですり的に早めに進めていくべきである。
・動画配信だけが議会改革のうえで情報公開になるのかをしっかりと議論していくべきである。

動画配信については、ぎんぎんテレビの画像を使って動画配信をするのか、議会事務局で編集するのか、議長、市議会に対して方向性を決定し、書面で提出することを次回の特別委員会で検討することとなった。

一般質問、質疑等のルール化について

意見

・質疑の通告については、本会議、常任委員会等の質疑のルール化がされていないがために、議事進行が進まないケースもあるので、議論をして決めるべきである。

新庁舎建設調査検討特別委員会 特別委員長中間報告

〔7月11日、21日に開催〕

★新庁舎建設調査検討特別委員会 委員定数

議長を除く議員全員(17名)
◎委員長 河村賢治
○副委員長 小川和也

「サウンディング型市場調査」 について

民間の提案を入れることにより、公的財源が節約できるのであればメリットがあると思うがどうか。

【答】この調査はいろいろな可能性を探るためのものである。公的資金の削減にもつながるよう、今後も検討を行っていく。

【説明】

サウンディング型市場調査とは、事業を進めていくために、民間のノウハウ活用によるコストの低減や付加価値の創造など、民間事業者のアイデアや意見をいただき、今後の事業実施に向けた検討に活用することを目的に行うものである

【問】2月にはPFIについて説明を聞いた際はDBO方式という言葉はなかったが、DBO方式とはどのようなものか。

【答】DBO(デザイン・ビルド・オペレート)とは、設計、建設、運営を一括して行う方法であり、今回の調査の中で事業者からの提案の一つである。

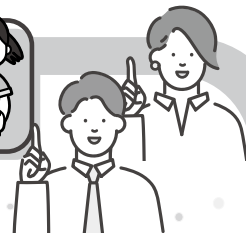
意見

・建設単価の値上がり
・駅周辺での用地確保の問題





写真で見る議会日誌



7/7

石見四市議会議長会 設立検討会議(正副議長)



石見四市(浜田市、益田市、大田市、江津市)で石見四市議会議長会を設立し、市政等に関する共通課題を調査協議し、石見地方の活性化に寄与するとともに、相互の連携交流をはかることを確認しました。会議は毎年春・秋の2回開催される予定です。



7/11

島根県市議会議長会 議員研修会(全議員)



島根県市議会議長会議員研修会は、県内の市議会議員が一堂に会し、共通の課題に対して認識を深めるために開催されています。今回は、中山間地域の現状と今後の方策について、島根大学教育学部教授 作野広和氏による講演がありました。中山間地域に安心して住み続けられるような取り組みについて学ぶことができた研修でした。

8/5

天領踊り ～大田市議会チーム～ (正副議長ほか)



第41回天領さん大田会場の天領踊りに「大田市議会チーム」として参加しました。

今年は距離が短かったものの、暑い中の参加でバテぎみでしたが、久しぶりに大田のまつりを楽しむことができました!



8/17

かわい児童クラブ 市役所見学(正副議長)



かわい児童クラブの児童21名が市役所を訪問し、議場をはじめ、議会で使用している委員会室などを見学しました。市長・議長・副議長への質問コーナーでは、はじめは緊張している様子の子も達でしたが、だんだん積極的に手が上がり始め、最後は質問攻めに!このような機会を通じて、市役所の仕事や市議会に興味を持ってもらえると嬉しいです。

8/20に開催しました!

おでかけトーク

参加いただきありがとうございました

今年度で3回目の開催となった「おでかけトーク」。今回は、これまでのアンケートで一番希望の多かった「子育て」をテーマに、市民の皆さんと意見交換しました。暑い中お越しいただいた皆様、ありがとうございました。

当日は子育て世代をはじめ、様々な年代・職種の方に参加いただき、子育てに関する課題や思いをたくさん出し合っ、各会場ともに活発な意見交換となりました。日頃の思いを語り合える、市議会が身近に感じられる、そんな会になっていたらうれしく思います。

今後もたくさんの方の参加をお待ちしています。とりあげてほしいテーマなど、ご意見がございましたら市役所議会事務局までお寄せください。

大田会場(19名)

- ・保育士がしっかり子育て支援できるような配置を。保育士の確保が重要
- ・小児科、眼科、皮膚科、耳鼻科などの病院不足
- ・休みの日に利用できる公園(遊具)が少ない
- ・情報発信をしっかりとしてほしい



大森会場(11名)

- ・一律の学校再編はおかしい、特色ある学校づくり
- ・定住する空き家が少なく苦慮している
- ・1ターン、Uターンを増やす施策の実施を
- ・民間と行政が一心同体で事業を進める必要がある



温泉津会場(11名)

- ・急速に少子化が進んでいる
- ・不妊治療の補助も重要な政策である
- ・高校生までの医療費無料を望む
- ・子どもを地域で育てることが大事である
- ・特色ある子育て支援策を



編集後記

早いもので今年も残り2か月余り。新型コロナウイルスの影響も5類移行後は街中も見られるようになり、夏にはそれまで数年の間中止していた様々なお祭りやイベントが復活。まだまだ完全復活とはいきませんが、少しずつ平穏な日常が戻って来ました。私たち大田市議会では6月議会からタブレットを導入し、ペーパーレスによるエゴな議会に取り組んでおります。現在は市民の皆さんによりわかりやすく開かれた議会を目指し、日頃感じてもらっている「議会って何をやっているの?」の疑問解消のため、YouTube配信等、新しい情報発信について検討、取り組みを進めておりますので、皆さんにはもう少しお待ちいただきたいと思っております。最後になりますが一日も早いウクライナ情勢や新型コロナウイルス感染症等世界中の混乱が終息することを心から願います。

(伊藤康浩)

広報広聴委員

- 委員長 塩谷 裕志
- 副委員長 亀谷 優子
- 委員 石田 洋治
- 委員 胡摩田 弘孝
- 委員 宮脇 康郎
- 委員 柿田 賢次
- 委員 伊藤 康浩

坂根印刷